



日本の「医療機器製造業」向け  
デザインおよび製造技術に関する  
展示会・国際会議

# MEDTEC

## JAPAN

2010年4月15日～16日  
パシフィコ横浜 | 横浜市

後援:

EUROPEAN MEDICAL DEVICE MANUFACTURER  
**EMDM** 誌

**M&D** 誌  
Medical Device & Diagnostic Industry

**CMDM** 誌  
China Medical Device Manufacturer

後援:

 **医機連** 日本医療機器産業連合会  
JFMDA  
The Japan Federation of  
Medical Devices Associations

[www.medtecjapan.com](http://www.medtecjapan.com)

# MEDTEC

## JAPAN

### 日本の医療機器メーカーへのご提供



医療機器製造産業は、世界全体でおよそ2000億ドルの経済規模を誇る専門製造分野です。自動車など他の製造産業と異なり、医療機器製造は、世界的な不況にも大きな影響を受けることはありません。増加の一途をたどる高齢者への治療、および予防用医療製品の需要はこれまでにないほど広範囲となり、2009年の世界的な経済成長率は9%に上ると専門家は予測しています。

2015年までに、日本の人口のおよそ4分の1は、65歳以上の高齢者になると言われています。人口の減少に加え、新興国との競争により、日本の医療機器産業は引き続き競争力を強化していくことが不可欠となっています。

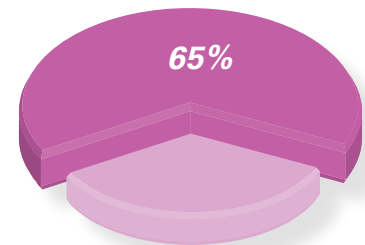
第2回MEDTEC JAPANは、医療機器製造メーカーが競争力を強化する事をサポートするための展示会および国際会議です。展示会は、医療機器製造で使用される原料、設計、製造技術などを提供している、150社を超える世界トップクラスのサプライヤーと直接出会う絶好の機会です。またMEDTEC国際会議では、規制・法令順守など法律面と技術面両方について、国内外で活用できる最新情報を入手できます。

### 不況に強い医療機器産業

医療機器産業は世界的な不況の影響が少ない専門業界であります。メーカーがサプライヤーに求めているのは最高の技術や専門的なノウハウです。製品の欠陥が人の生死にまで影響するような業界では、品質がすべてです。高い精度や品質基準を満たすことのできるサプライヤーにとって、医療機器業界は専門分野でありながら安定し、高い収益・利益率を得ることができる市場です。



Emergoグループが最近実施したアンケート調査によると、およそ65%の企業が、2009年も同じ人数またはそれ以上の従業員を採用すると回答しています。



### MEDTEC JAPANにおいて出展される主な技術

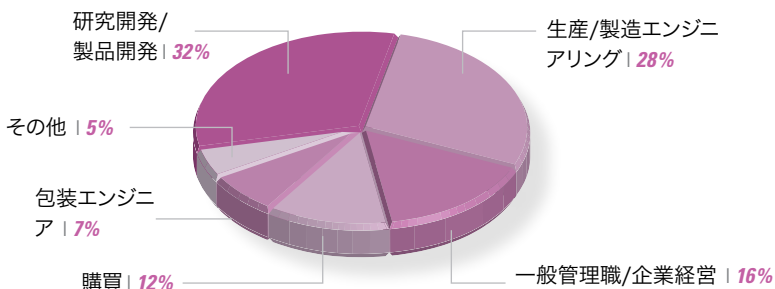
2009年は、100社を超える出展者が、医療機器の設計・開発に必要な様々な技術を提供しました。:

- ▶ プラスチック成形機、処理技術、樹脂、各種原材料
- ▶ 押出技術および特殊チューブ類
- ▶ フィルター、膜、その他コンポーネント
- ▶ 工作機・機械工具
- ▶ レーザーおよびマーキング技術
- ▶ 特殊合金
- ▶ マイクロマシン技術
- ▶ オートメーション・ロボット技術
- ▶ 設計および製造ソフト
- ▶ ワイヤーおよびスプリング
- ▶ 電子コンポーネント
- ▶ 完成コンポーネント・部品
- ▶ モーター、動作制御
- ▶ 各種ポンプ
- ▶ 包装技術および包装材料
- ▶ 接着および接合技術
- ▶ 不織布およびテープ
- ▶ 殺菌消毒サービス

2009年、世界の医療機器製造メーカーから4,300人を超える来場者がMEDTEC Japanを訪れました。2010年はさらに大幅に来場者数が増加すると予想されています。



### MEDTEC JAPAN 2009来場者の職種内訳



### MEDTEC JAPAN 2010の主要技術エリア

#### オートメーション、組み立て、ロボット技術

インテグレーターやオートメーション生産向け最新技術などを展示。

#### 医療包装技術

医療包装用の原材料、委託、機械および、製薬分野の薬品送達システム (DDS)。

#### 工作・プレジジョン技術

特殊金属を使用した外科手術製品、インプラント、心臓インターベンション機器メーカー向けの多軸 CNC技術、マイクロマシン技術、レーザー、超音波技術。

#### プラスチック技術

医療製品用高性能プラスチック、射出成形、押出技術。

### MEDTEC JAPAN 2010国際会議

同時開催のMEDTEC国際会議は世界的に評価されているカンファレンスです。この国際会議は、日本の医療機器に関する最新の状況をレビューするとともに、次世代の医療機器、その製造技術、さらにそれら次世代製品の市場投入に関連する薬事規制について検討することを目的としています。米国FDA (食品医薬品局) が広い範囲で協力し、日本及び世界最大の医療機器市場である米国に製品を販売するにあたる重要項目についてスピーチを行います。

MEDTEC JAPAN 2010国際会議のご講演にご興味ある場合mary.gordon@cancom.comまでご連絡ください。



MEDTECへのご出展は簡単です。ご自身で装飾を手配いただくか、簡単に利用できるパッケージ・ブースを2種類ご用意しております。

スペース貸し出し:	パッケージブース:
フロアスペースのみの貸しだしとなり、独自でデザインしたブースを設置してください。	簡単に使えるパッケージブースを2種類用意しております。フロアスペースだけではなく、そのままお使いいただける装飾をご用意しております。ご希望に合わせてカスタマイズも可能です。



[www.medtecjapan.com](http://www.medtecjapan.com)



## 主催者紹介

CANON COMMUNICATIONS Japan合同会社は、CANON COMMUNICATIONSのグループ企業です。

CANON COMMUNICATIONS LLCは創業1978年、現在では世界最大の国際医療機器製造市場向け展示会・国際会議主催、出版・デジタルメディア製作を提供する企業にまで成長しました。

東京をはじめ、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、フランクフルト、香港まで、世界中にオフィスを持つ弊社は、医療機器、製薬、ライフサイエンス製造産業向けの包括的な国際・国内イベントシリーズを多数運営しています。現在、CANON COMMUNICATIONSは、医療機器産業向けに、米国で毎年3ヶ所で開催する MD&M展、毎年6ヶ国で開催されるMEDTEC展、急成長をとげている組み合わせ装置ビジネス向けBiomedevice、医薬品包装産業向けPharmapackなどを主催しています。

また、CANON COMMUNICATIONSは『*Medical Device Technology* (医療機器技術専門誌)』、『*European Medical Device Manufacturer* (ヨーロッパ医療機器メーカー向け業界誌)』、『*China Medical Device Manufacturer* (中国医療機器メーカー向け業界誌)』、『*Pharmaceutical and Medical Packaging News* (製薬・医薬品包装情報誌)』、『*IVD Technology* (IVD 技術専門誌)』、『*Medical Device and Diagnostic Industry* (医療機器/IVD 業界誌)』、『*Medical Product Manufacturing News* (医療機器メーカー向け情報誌)』など、多くの業界誌も出版しています。弊社の“*Medical Device Link*”ポータルサイトは、世界トップクラスの医療機器向けデジタルメディアです。



## お問い合わせ:

**CANON COMMUNICATIONS Japan合同会社**

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-21-1

渋谷マークシティWest 22F

Tel: 03-4360-5683

Fax: 03-4360-5301

Email: medtecjapan@cancom.com

[www.canonmed.com](http://www.canonmed.com)